

授業科目名		担当講師名		対象学年	
小児看護学Ⅱ (治療・処置を受ける小児の看護)		重 しほ子・大山 周子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1(30)	2年教室	前期	不定期	不定期
実務絵経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	子どもと家族への看護 (検査・処置に伴う技術と看護 プレパレーションと看護) 障害(とらえ方・特徴・社会的支援)虐待と看護 疾患と看護				
到達目標	健康問題・障害が子どもと家族に及ぼす影響と反応を発達段階に応じて理解する 小児期に見られる主な健康問題・障害とその看護について理解する				
事前学習	輸液・吸入についてレポートする				

### 授業計画

No.	授 業 内 容
1	検査・処置を受ける子どもと家族の看護 総論(子どもにとっての検査・処置体験と看護の実際)薬物動態と薬用量の決定
2	技術と看護 (注射 与薬 小児の輸液療法)
3	技術と看護 (採血・採尿・骨髄穿刺・腰椎穿刺・抑制・罨法・浣腸)
4	技術と看護 (酸素療法・吸入・吸引・経管栄養・救命処置)
5	技術と看護の演習 (輸液療法中のシーネ交換・吸入療法の実際)
6	発達障害の特性と対応
7	疾患をもった子どもの看護(ダウン症・ターナー症候群)
8	疾患をもった子どもの看護(糖尿病・川崎病)
9	感染症をもった子どもの看護・アレルギー疾患をもつ子どもの看護
10	消化器疾患をもつ子どもの看護(腸重積など)
11	呼吸器疾患をもつ子どもの看護(気管支喘息・肺炎など)
12	血液疾患をもつ子どもの看護(白血病)神経・筋疾患をもつ子どもの看護
13	泌尿生殖器疾患をもつ小児の看護 代謝性疾患をもつ小児の看護
14	運動器疾患をもつ小児の看護 事故外傷と看護
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	系統看護学講座Ⅱ 小児看護学概論・総論 医学書院 系統看護学講座Ⅱ 小児看護学概論・総論 医学書院
テキスト、教材、参考書	視聴覚教材
成績評価の方法	筆記試験
備考	